

金沢学院大学・金沢学院短期大学における公的研究費の不正使用防止に関する基本方針

平成27年2月2日

公的研究費の原資の大部分は貴重な税金であり、われわれ研究機関におけるさまざまな活動は、社会の信頼と負託によって支えられています。その不正使用は社会からの信頼等に反する行為であり、公的研究費の管理については研究機関の責任において適正に行わなければなりません。

金沢学院大学および金沢学院短期大学は、公的研究費の適正な使用を厳守するとともに不正使用根絶に向けて、不正使用を誘発する要因を除去し、抑止機能を有する環境・体制の構築を図るため、次のとおり公的研究費の不正使用防止に関する基本方針を定めます。

1. 不正使用防止対策に関する責任体系を明確化し、学内外に公表する。
2. 事務処理に関する職務権限やルールを明確化するとともに、不正使用防止対策に関する関係者の意識向上を図り、抑止機能を備えた環境・体制の構築を図る。
3. 不正を誘発させる要因に対応した具体的な不正使用防止計画を策定し、実効性のある対策を確実かつ継続的に実施する。
4. 公的研究費の使用ルール等が適切に情報共有・共通理解される体制を構築する。
5. 適正な予算執行を行うことができるよう、実効性のあるチェックが機能するシステムを構築し、公的研究費の適正な運営、管理を行う。